

# はくぶつかんの部屋 28

みんなが「学ぶ」場所、博物館



博物館は、市民の皆さまが暮らしている宜野湾市を学ぶ場所として活動しています。展示の内容も、地域にねざしたテーマとなっております。

「学び」とか「学習」というと、お堅いイメージがあるかもしれませんが、博物館での「学び」とは、どのようなものなのかご紹介しましょう。私たちが学ぶ方法は、大きく二つに分けられます。学校などで学ぶ「学校教育」と、博物館などで学ぶ「社会教育」です。

「学校教育」では、決まった年齢、決まった教科書、決まった時間割で同じ内容を学びます。しかし「社会教育」は、学びたい人の年齢は問いません。また、自分のペースに合わせて、好きなテーマを選ぶことができます。当館の常設展示室や企画展から、自分の知りたいことを学んでいくのです。また、調べようと思っていなかった展示から、意外な発見ができることも、博物館の学びの楽しみです。

当館で開催している市民講座も、「学び」の場所です。参加して講師のお話や案内などを聴くだけでも、いろいろ知ることができ、参加者同士で情報交換することもっと楽しい「学び合い」の場所になります。自分の知っている情報を語り合うこと

で、互いに学び合うことができます。

さらに学び合うことができるのが、博物館友の会です。年間テーマを決めて自主的な学習を行うサークル活動や、企画展担当職員による展示説明会に参加することができます。この場を通じて、さらに新たな発見や学び合いができるでしょう。

当館では、市民の皆さまが「学び」や「学び合い」を通して、歴史、年中行事や祭りなどの民俗、地域に残る文化財に親しみを持っていたとき、地元である宜野湾市の良さをもっと知って欲しいと考えています。また、市外から転入されてきた方々も、ぜひ当館に足を運んでいただき、新たな宜野湾市民として、過去に住んでいた地域と比べながら、「学び」を体験してほしいと思っています。



市民講座の様子(平成26年10月グスクめぐり)

【お問合せ】市立博物館 ☎870-9317  
入館料無料となっておりますので、お気軽にご来館ください。

## 茶ぐわーゆんたく

138

### 沖縄随一の完備を誇った普天間総合グラウンド

陽射しも和らぎ、涼しい時期を迎えて運動に快適な季節です。今回は秋のスポーツシーズンに因んだお話しを紹介します。

現在の普天間高校と普天間小学校、両校の運動場は、かつては「普天間総合グラウンド」として使われていました。今から65年前の1950(昭和25)年10月21日にオープンした総合グラウンドは、戦前の県立農事試験場普天間試験地の農場地で、戦後、農場跡地を整備してグラウンドとしました。この企画は中頭地区の胡差体育協会から発案され、当時の野嵩中高校、普天間初等学校が中心となって地域住民、軍工作隊、民政府工務部の協力を受けて49(昭和24)年10月から整備を開始しました。敷地一万坪余のグラウンドは、400メートルトラックと野球場を設けた施設として、当時は沖縄随一の完備を誇ったグラウンドとして新聞にも紹介されました。オープンングセレモニーでは、野嵩中校、普天間初等学校女子生徒による体育ダンスと米琉對抗野球、そして角力大会が行われました。その翌日には、米琉陸上競技大会としてトラックとフィールドの16種目の競技が繰り広げられ、スポーツ交流をおしてグラウンド開場を祝いました。



普天間高校側からみる普天間総合グラウンド 1953(昭和28)年

【官野湾市史】への問合せ  
市立博物館 ☎870-9317

